

保護者から見た支援、支援者から見た保護者

3年目となる今年のテーマは「保護者から見た支援、支援者から見た保護者」です。

保護者にとってどのような支援が求められるのか、どのような支援は望んでいないのか、また、支援者はどのように保護者と協力しようと考えているのか、どのような支援を保護者に提供できたらと考えているのか、ということを守護者の声、また現場の支援者たちの声をもとに、いろいろと考えていきたいと思ひます。

平成29年

2月26日(日)

13時～16時

東京女子大学 23101 教室

報告者：区内児童発達支援事業所数ヶ所 保護者数名

助言者：河北総合病院小児科部長 勝盛 宏氏

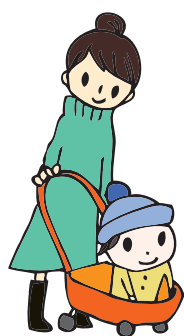
司会：東京女子大学教授 田中 健夫氏

参加対象：発達障害児への支援に関心のある方どなたでも歓迎

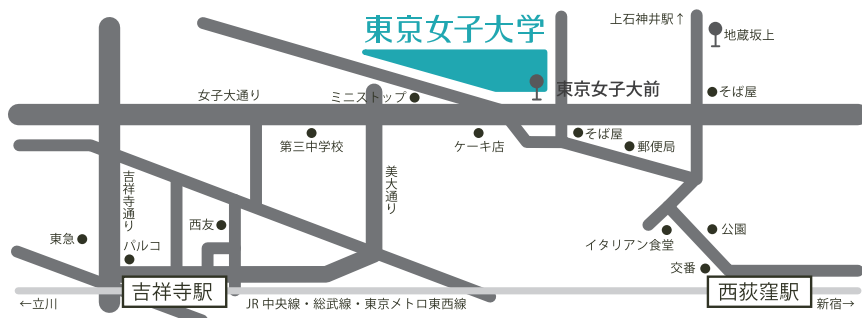
参加費：無料 直接会場にお越しください

問い合わせ先：杉並区立こども発達センター 療育相談担当

- 報告者、あるいは発表コーナーへの参加を希望する児童発達支援事業所は、
①どのように保護者と協力しようと考えて事業を行ってきたか、②どのような支援を提供していきたいと考えているか、を裏面の参加申込書に概要をご記入の上、報告者希望の有無をチェックしていただき、2月14日までにお送りください。報告者として希望を明示くださいました事業者から、多様な工夫を試みている事業者の活動を選ばせていただき、当日報告者として実践の試みをお話いただきたく思ひます。また、時間の関係上、選ばれなかった事業所、ならびに報告者を希望しなかった事業所の試みにつきましては、会場外のロビースペースにポスター発表コーナーを設け共有できるチャンスを提供したいと考えております。
- 報告者、あるいは発表コーナーへの掲示を希望する保護者からも同様に、①どのような支援が求められるのか、②どのような支援は望んでいないのか、逆に困ってしまうのか、ということについて、裏面の参加申込書にその概要をご記入の上、報告者の希望の有無をチェックしていただき、2月14日までにお送りください。やはり、希望者から報告者を選ばせていただき、ご発表をお願いします。それ以外のものにつきましては、共有できるよう掲示をさせていただきます。
- もちろん、ただ参加して、お話を聞いてみたいという方々も歓迎します。その場合、特に申し込みは必要ありませんので、当日いらしてください。
- 当日は、保護者ならびに支援者の発表をきっかけに、会場の皆さんとも意見交換しながら必要な支援の在り方について論議を深めていきましょう。
- 地域で活動するNPOの飲み物提供や南相馬障害者支援杉並プロジェクトによる物品販売もあります。
- 託児の必要な方はご相談ください。



主催 杉並区
後援 東京女子大学



JR中央線西荻窪駅下車12分 バス利用のときは北口より吉祥寺駅行で東京女子大前下車

平成 28 年度 杉並区発達障害児地域支援講座 支援者実践報告会

報告者、ポスター発表希望者申込書

今回のテーマについて報告者あるいはロビースペースでの掲示をご希望の方は、
下記にご記入のうえ FAX 03-5382-6422 または、メールにて 2.26houkokukai@gmail.com までお送りください。

にチェックをお願いします

あなたは、 保護者（支援を受けたお子さんの年齢）

支援者（事業所名）

その他（）

実践報告会で報告者となる希望が あり なし

（支援者のみ）実践報告会での事業所ポスター展示の希望が あり なし

保護者の方は、①発達障害を抱える子どもの保護者にどのような支援が必要だと思うか、

②どのような支援は望んでいないのか、

支援者の方は、①どのように保護者と協力しようと考えて事業を行ってきたか、

②どのような支援を提供していきたいと考えているか、について概要をお書きください。

報告者としてお願いすると決まりましたらご連絡いたします。

連絡のつきやすい番号あるいはアドレスをお教えてください。（個人情報をご連絡以外に使用することはありません）

事業者名・氏名

電話・アドレス